

## ファイルで顔の「シールド」

自動車部品加工の真辺工業（府中市鷺飼町）は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためフェイスシールドの量産を始めた。医療機関やスーパーなど業務のため不特定多数と接する人の利用を想定。1日最大千個の生産体制を整えた。

フェイスシールドは、ステンレスの骨組みに市販のクリアファイルを切ってテープで貼り付けて使う。ステンレス部分には、同社が持つ板金、曲げ加工技術を応用し

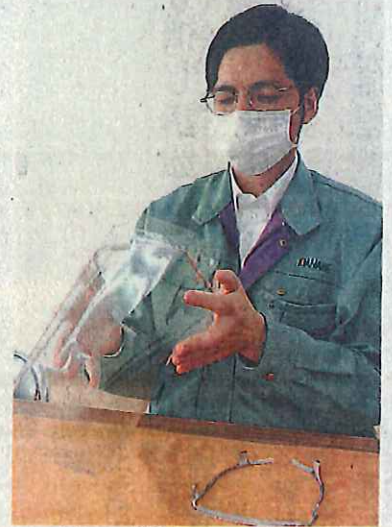
### 府中の業者が量産化

た。頭の大きさに合うよう、ステンレスを曲げて自由に調節できる。クリアファイルがあれば何度でも取り換えられる。

医療機関などで防護資材が不足し、医師や看護師の健康や安全が脅かされていることを知った真辺崇正専務（37）が開発を提案。14日に試作し、16日に出荷を始めた。

真辺専務は「簡易ではあるが改良を重ね、資材が行き渡るまでの間、必要な人の元へ届けたい。私たちの生活を支えるため働いてくれている人の助けになれば」と話す。同社☎0847(40)1170。

（野平慧一）



真辺工業が量産を始めたフェイスシールド